

第7学年 保健体育科学習指導案

日 時	6月7日(水)	第5校時
対 象	7年2組	28名
場 所	7年2組教室	西校舎2階
指導者	教諭	横 沢 大 喜

1 単元名 「保健編 1章 健康な生活と病気の予防」

2 単元のねらい

- ・健康の成り立ちと病気の発生要因、生活習慣と健康について、課題を発見し、解決に向けて学習に主体的に取り組み、理解できる。
- ・エデュスクラムを活用し、授業で学習した内容と実生活とを関連付けて自律的・協働的に学習する。

3 単元計画 (6時間)

時	学習活動 (概要)	エデュスクラムの活用
1	「健康の成り立ち」について、ワーク中心に学習する中で、エデュスクラムのオリエンテーションを行う。	【フリップ・付箋紙】 フリップを活用して班として取り組むべき活動を視覚化する。また、個々の学習活動(アイテム)を付箋に書いてフリップに掲示することで、個々の進捗状況を把握できるようにする。
2		
3 本時	「健康の成り立ち」、「運動と健康」、「食生活と健康」、「休養・睡眠と健康」について、エデュスクラムを活用して学習する。	【ブック】 本単元の学習の大枠がわかるように、学習内容等の教科書やワークに載っている情報をまとめて活用させる。また、単元の評価規準を載せることで学習者がゴール意識をもって活動できるようにする。
4		
5	① ミーティングタイム I ② リサーチタイム ③ シェアリングタイム の流れを中心に進める。	【TTの活用】 養護や栄養士との連携により、リサーチタイム時の「人的資料」として活用していく。また発表活動の時にはコメンテーターをお願いし、フィードバックにも役立てていく。
6 まとめ	「調和のとれた生活」※発表活動含む	

4 自律的、協働的な学びを充実させるための手だて

○ねらいや学習活動 ※エデュスクラム活用時は、3つのタイムを提示して、活動の手順を明確化する。

- 1 「ミーティングタイム」…活動の進め方を確認。役割分担の決定・確認。班のゴールを共有する時間
- 2 「リサーチタイム」…フリップを基に各自アイテムの調査を行う時間
- 3 「シェアリングタイム」…班メンバーの活動状況を共有する時間

○アイテムやフリップ、完成の定義

アイテム：健康にかかわる2つの要因 適切な運動 適切な食事 適切な休養・睡眠

完成の定義：①班全員が納得する ②説明に根拠がある (出典の記載)

○ブック ※詳細は、別紙参照

- | | | | |
|-----------|----------|--------------|--------|
| ・第1章の学習目標 | ・学習の評価規準 | ・問題の背景(学習意義) | ・調べる内容 |
| ・プレゼンの方法 | ・参考サイト | ・エデュスクラム3か条 | |

○手だて

班員全員がゴールを視覚的に共有できるように、模造紙を活用してフリップを作成していく。また、調べた内容は、班で共有しやすいようにスライドにまとめていき、視覚的な情報を基に自律的・協働的な学習を促進

させる。

調べ学習がスムーズにいくように、ブックの中に参考サイト（二次元コード等）を載せて、検索する内容が学習から大きく逸れないようにすると同時に検索時間の短縮を図る。また、調べた内容に関しては、出典（引用元）を記録させ、中学生の段階から ICT リテラシーの向上も視野に入れた学習を行う。

5 本時（3／6）

(1)本時のねらい

○健康に過ごすために大切なことを調べよう！

(2)本時の展開（6時間扱い 3時間目）

学習内容	予想される生徒の反応 (エデュスクラムに関連した)	支援 ■ 評価◎
1 エデュスクラムの進め方を確認する。	C「模造紙や付箋使う」 C「タブレットや教科書で調べる」 C「ブックを使って班で進める」	■前時に確認したことをブックを使用して確認しつつ、本時の学習の全体像を把握させる。
めあて 健康に過ごすために大切なことを調べよう		
2 全体のテーマ、グループのゴールを学級全体で確認する。	C「ブックに～って書いてある」 C「時間を意識して進めよう」	■タイムを明確化し、班・個々が動きやすいような環境を教師は整える。 ◎ゴールを意識し、ミーティングに参加することで班員と協働的に進める準備ができています（主体的）
※3～6の時間配分については、班で相談して進めていく。		
3 「ミーティングタイムⅠ」 班でミーティングを開き、本時で進める内容について確認する。	C 班長「完成の定義は～だね」 C「私はここが担当」 C「何を使って調べていこう」 →「教科書、タブレット」	■巡回する中で、班や生徒一人ひとりに声掛けを行って、作業の進め方を理解しているか、うまく班活動ができていないかを確認する。 ◎テーマに沿った形で調べたことをまとめることができる（思考・判断・表現）
4 「リサーチタイム」 班で分担した役割を意識し、各自で学習（作業）を進め、調べたことを jamboard にまとめていく。	C「教科書に～って書いてある」 C「タブレットだと～のサイトがおすすだね」 C「○○は理解して進められているかな？」 C「●班にはこんなことが書いてあったから参考にしよう」	■自分たちの班と重なっている部分、異なっている部分の2つの視点をもって共有できるように支援の声掛けを行う。
5 「シェアリングタイム」 の合図を出して、各班の進捗状況を共有する。	C「自分たちの班には～が足りない」 C 班長「今日の進捗状況を確認します」 C「私は調べることが終わってきたから次回は、発表の準備を担当する」	■次回の予定を確認させて、次回の活動イメージを持ちやすいようにする。また、足りない部分は自主的に学習してよいことを伝える。
6 「ミーティングタイムⅡ」 班の進行状況を確認し、次回の目標に向けた班まとめを行う。	C「情報が足りないから次回までに宿題にして調べてくるよ」	
7 全体のまとめ		